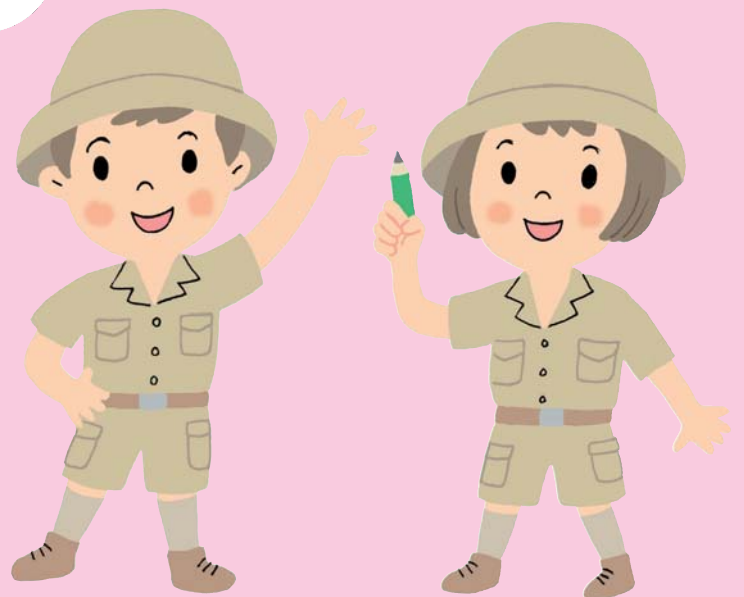




エコワークブック

ECO WORK BOOK

しょう がく せい よう じょう
小学生用上



かんきょうがくしゅう 環境学習って何？

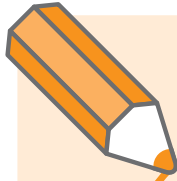
わたし く ぶくいけん みどり き しげ あお うみ かわ
私たちが暮らしている福井県には、緑の木が茂り、青い海や川、
きれいな水や空気など、豊かな自然があります。そこには、多くの
どうぶつ しょうぶつ そだ
動物がすみ、たくさんの植物が育っています。

そんな私たちのまわりにある自然の様子をよく見てみたり、自然の
なか あそ
中で遊んでみましょう。きっと、すばらしい自然がある福井県のこ
とが、もっと好きになるはずですよ。

けれども、この豊かな自然が、どんどんうしな
れ失われています。たとえば、
むかし くら しみずどり いもの
昔に比べてホタルやメダカ、トンボ、水鳥など、いろいろな生き物
のにぎわいがすく
少なくなっています。

私たちの福井県の豊かな自然が、これ以上いじょうしな
まも ひつよう
守っていく必要があります。自然を守るためには、どんなことをし
たらいいのか、どんなことがで
きるのかをし
を知り、やってみよう
とすることを「環境学習」といいます。





がくしゅう 学習の ポイント

まず、「環境と友だち」クイズで、
今、どのくらい、環境を考えている
かをチェックしてみましょう。その後、
田んぼや川の様子、春、夏、秋、
冬の違い、花や虫などの生き物の
こと、いつも水や電気をどのように

使っているかなどについて調べてみましょう。そうして、
どんなことが環境を守るようになるのか、どうすると環境
を壊してしまうことになるのかを話し合ってみましょう。そ
のなかで、環境を守るために、私たちにもできることを見
つけてみましょう。

自分たちでできることを見つけたら、さっそく実行して、
環境といい友だちでいるようにしましょう。



- 学習のポイント P 2
- あなたは、環境と友だち? P 3
- 1 とび出せ 自然探検隊 P 5
- 2 花・葉・実 調査隊 P 21
- 3 エネルギー探検隊 P 25
- 4 エコ探検隊 P 35
- 5 エコライフに挑戦 P 41
- 6 福井県の環境エトセトラ P 47

あなたは、環境と友

わたしたちの暮らしと環境は、おたがいにとっても深くつながっています。あなたはこのクイズでたしかめてみてください。

スタート!

ぶんぼうぐ
文房具は、
ふる
古くなっても
つか
きちんと使いきって
いますか?

はい

はい

シャワーを
つかうとき、
た
出しっぱなしに
していますか?

いいえ

すき きら
好き嫌いをしたり、
た た
食べきれずに
しよくし のこ
食事を残すことが
よくありますか?

はい

はい

むし くさばな なまえ おお
虫や草花の名前を7つより多く
い
言うことができますか?

いいえ

はい

しょうひん
エコマーク商品やリサイクル品を
えらんで買うようにしていますか?

はい

はい

やさいや はな
やさいや花をじぶんの手で
そだ
育てたことがありますか?

はい

だち?

たのくらしは、^{かんきょう}環境にとってやさしいですか?



いいえ

はい

はい



はい

いいえ

いいえ



はい

いいえ

いいえ

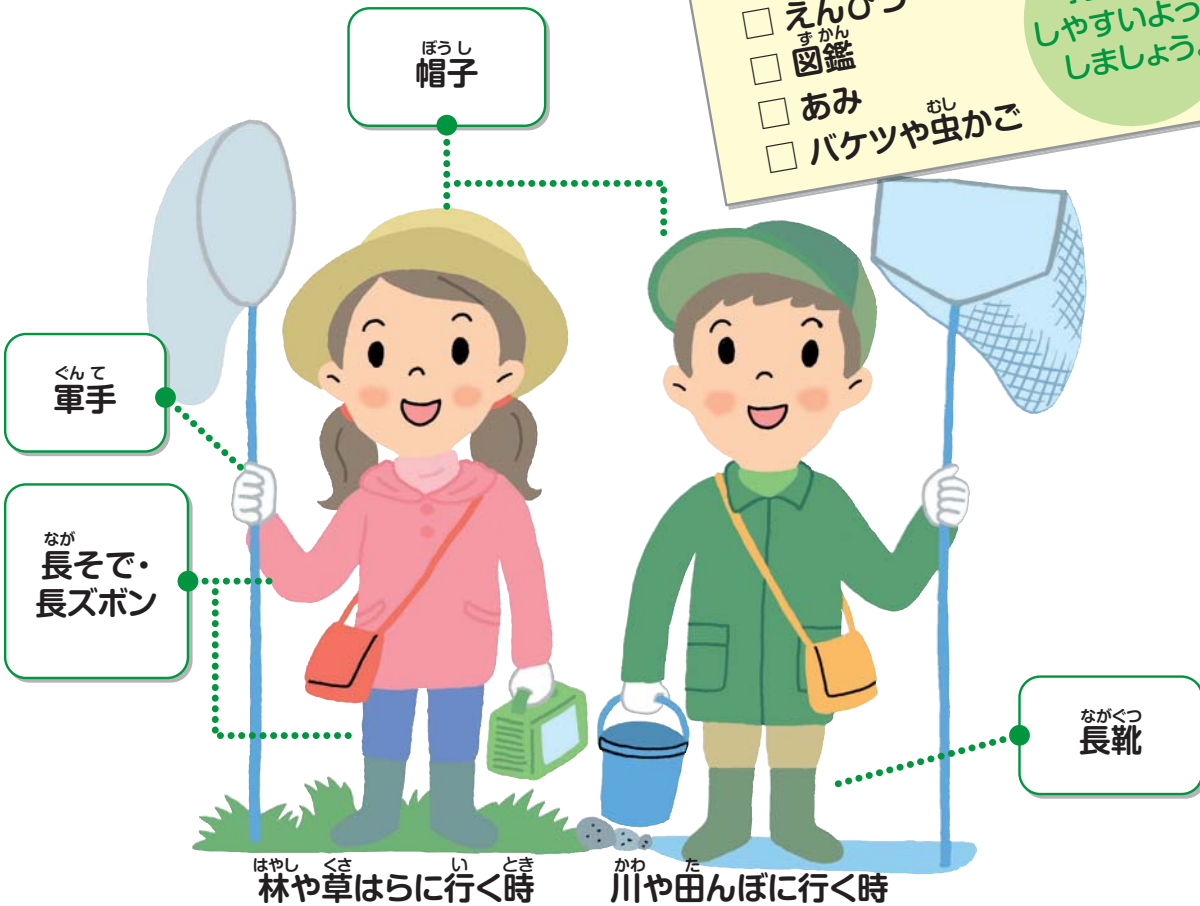
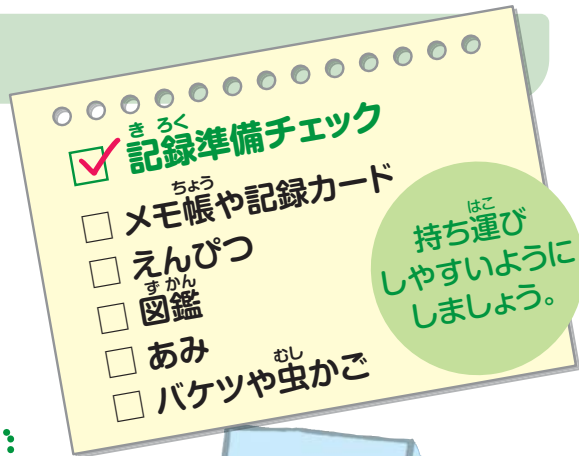


1 とびだせ自然探検隊

わたし たちの まち には、どんな い 生き物 が すん で いる の でしょう？ さっそ く 調べ に 出 かけ て み まし ょ う！

1 服装と持ち物

生き物は、どんなところにいるのかな？
準備ができたなら、さあ、出発だ！



き 気をつける こと

- 子どもだけで生き物を捕まえに行く時は、お家の人に伝えてから行きましょう。
- 池や湖、流れの速い川などは、大人の人と一緒に行きましょう。
- サクをしてある所など、入ってはいけない場所には、絶対に入らないようにしましょう。



2 いものつかかたも 生き物の捕まえ方・持ち方

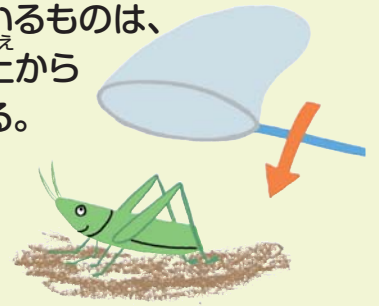


捕まえ方

- 草くさに止とまっているものや、飛とんでいるものを捕とまえる時は、あみで横よこからすくうようにする。



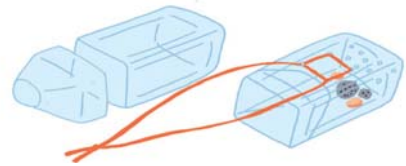
- 地面じめんにいるものは、あみを上うへからかぶせる。



- 小ちいさな虫むしは、下敷したじきや紙かみコップで受うけて、観かん察さつする。



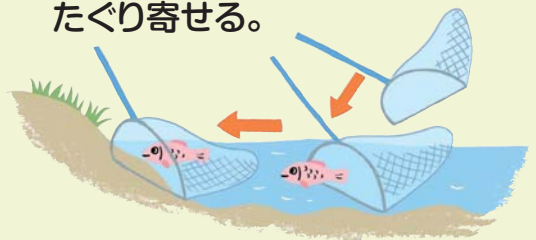
- ペットボトルでつくるセルビン。中なかにエサとおもりを入れておびき寄よせる。



- 流ながれの下流かりゅうにたもあみを置き、上流じょうりゅうの石いしや水草みずくさをガサガサやる。



- たもあみを上うへからかぶせ、岸きしまでたぐり寄よせる。



もち方

生き物を捕まえたら手で持ってみましょう。ザラザラしている？ ベタベタしている？ あばれる？ じっとしている？ 持ってみるといろんなことがわかります。

オタマジャクシとアマガエル

- オタマジャクシは水と一緒にすくう。



- アマガエルは両手で包み込むようにそっと持つ。



セミ

- はねの付け根をはねの方から、親指と人差し指でそっとつかむ。



バッタ

- 後から、はねと後ろ足を一緒につまんで持つ。



トンボ

- はねの真ん中か少し付け根のほうを、人差し指と中指ではさむ。



さかな

- 腹のほうからそっと手を入れ、魚に触ったらやさしく持ち上げる。



2 がっこうのまわりの生き物図鑑を作ろう

いっぱい見つけて、
たくさんカードを
作ろう!

学校のまわりには、どんな生き物がいるかな？
いろいろな生き物を探しに、出かけてみましょう。
見つけたら、その生き物の名前を図鑑などで調べてみましょう。
また、どこで見つけたのか、どんなものを食べていたのかなどを、記録カードにかいてみましょう。



観察したことを記録しよう!

記録カードの書き方

生き物の名前を自分でつけよう。見つけた場所を書こう。

スケッチのコツ

- はじめに全体の形をかいてから、もっと詳しく細かい部分をかく。
- ふつうのエンピツで、生き物の形をかいた後、色エンピツで色をつける。

オタマがエル 6月1日
学校のそばの 午前10時
田んぼ 晴れ



しっぽがあるカエルがいたので、おたまじゃくしからカエルになったばかりだと思う。
体の色が茶色っぽいカエルもいた。

つきひと時間、
天気を書こう。

どんな形だったか、どんな様子だったか、絵にかいておこう。

気がついたことや思ったことを書いておこう。

記録カードをまとめておこう!

- 記録カードはバラバラにならないようにまとめましょう。
- 友だちと自分の記録を比べてみましょう。



はる
春



オオイヌノフグリ

(高さ:10~25cm)
道ばたや畑で、春早く、小さな青紫色の花をつけます。まとまって花が咲くので、よく目立ちます。



ムラサキサギゴケ

(高さ:5~12cm)
湿り気のあるあぜなどで、春~夏のはじめに、舌を出したような紫色の花を咲かせます。名前は、花がサギに似ていることからつけられました。



タンポポ

(高さ:15~30cm)
日本には、昔からあるタンポポと外国からきたタンポポがあります。町の中で見かけるのは、ほとんどが外国からきたセイヨウタンポポになっています。



フキノトウ

(高さ:5~15cm)
フキノトウは、フキという植物の花の部分さをさす名前です。春一番に湿り気のあるところに生え、山菜として食べられます。フキの葉は丸く、柄(え)は食べられます。



タチツボスミレ

(高さ:5~20cm)
日本のスミレは50種類ほどありますが、その中でも1番ふつうに見られる種類です。ハート型の葉と立ち上がる茎が特徴です。



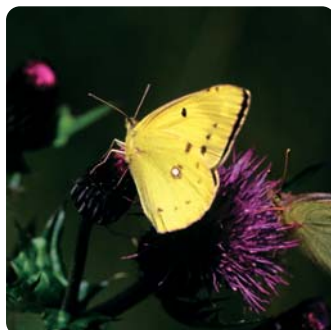
モンシロチョウ

(開いた大きさ:およそ5cm)
さなぎで冬を越し、春早く、日当たりのよい畑などで見かけます。幼虫はキャベツが好きなので、キャベツ畑を探すとすぐに見つかります。成虫は、名前のとおり白いはねに黒いもんがあります。



スジグロシロチョウ

(開いた大きさ:おおよそ5cm)
 さなぎで冬を越し、早春にやや暗い公園や林のまわりで見られます。モンシロチョウと似ていますが、はねに黒い線がたくさんあり、区別できます。オスはミカンに似たにおいがします。



モンキチョウ

(開いた大きさ:おおよそ5cm)
 幼虫で冬を越し、春早く、日当たりのよい草地で見かけます。はねの色は、黄色と白色の2つの種類がありますが、止まった時、はねの真ん中に白いもんがあります。幼虫は、シロツメクサなどのマメ科の草を食べます。



キチョウ

(開いた大きさ:おおよそ4cm)
 成虫で冬を越し、林のまわりで見かけます。モンキチョウより小さく、黄色味が強いチョウです。幼虫は、ネムノキやハギなどのマメ科の植物を食べます。



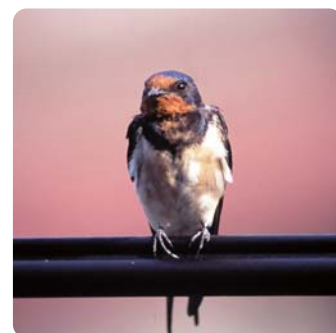
ツマグロヒョウモン

(開いた大きさ:おおよそ7cm)
 今は、街中でもふつうに見られるチョウですが、15年ほど前までは少ないチョウでした。増えたのは、幼虫がパンジーを食べられることや、温暖化の影響だと思われれます。メスは似た種類が他にいないので、すぐにわかります。



ヒバリ

(大きさ:おおよそ17cm)
 草はらにすみ、春から夏にかけて空高く舞い上がりながらさえずります。人が近づくとビュルビュルと鳴き、よく目立ちます。草はらで最も身近な小鳥です。



ツバメ

(大きさ:おおよそ17cm)
 ひながカラスなどにおそわれないように、人家などの人が使っている建物に巣をつくります。田んぼや街中で、すばやく飛びながら虫を捕ります。

なつ
夏



ツユクサ

(高さ:20~50cm)
道ばたや空き地に生え、6~9月に青色の花を咲かせます。朝に咲いた花は、昼にはしぼんでしまいます。



ネムノキ

(高さ:6~9m)
河原などの明るいところに生え、夏にピンク色のとても美しい花を咲かせます。暗くなると葉を閉じてねむったようになるので、このような名前がつけられました。



ヘクソカズラ

(つる性)
他の植物やフェンスなどによく巻きついています。葉をちぎってもむと、いやなおいがあります。



カタバミ

(高さ:10~30cm)
道ばたや庭などに生え、黄色い花と3枚のハート型の葉がよく目立ちます。葉で10円玉をこするとピカピカになります。



シロツメクサ

(高さ:10~30cm)
公園や校庭など、どこでもふつうに見られます。白い花と3枚の葉がとくちょうですが、まれに「四葉のクローバー」といわれる4枚の葉のものがあります。



ドクダミ

(高さ:20~50cm)
湿り気のある日かげに生え、葉をちぎると強いにおいがあります。昔から薬草として利用されています。



アゲハ (ナミアゲハ)

(大きさ:おおよそ9cm)
 一番身近に見られるアゲハチョウです。幼虫はミカン科の植物の葉を食べます。幼虫は、最初は鳥のフンに似ていますが、大きくなるとあざやかな緑色に変わります。



アブラゼミ

(大きさ:おおよそ6cm)
 街路樹、公園、庭の木、果樹園など、一番身近に見られるセミです。このセミは、ジージリジリと鳴き、はねが茶色と黒のもようで透き通っていないので、すぐに区別できます。



ニイニイゼミ

(大きさ:おおよそ3cm)
 声が小さくて自立たないセミですが、街中の林で見られるセミの中では一番小さく、幼虫も全身に泥がついているので、他のセミとの区別は簡単です。



シオカラトンボ

(大きさ:おおよそ5cm)
 5~11月に、池や田んぼなどの水辺で一番よく見られるトンボです。オスを「シオカラトンボ」、メスを「ムギワラトンボ」と呼ぶことがあります。



アマガエル

(大きさ:おおよそ3cm)
 夏になると、がい灯や窓ガラスに集まる虫を食べにきます。クワツ、クワツと鳴き、田んぼで一番よく鳴き声がきけます。



アマサギ

(大きさ:おおよそ50cm)
 田んぼや草はらで、バッタやカエルを食べます。5月に日本に渡ってくる夏鳥で、頭や胸が亜麻色の美しいサギですが、子育てが終わると全身が白くなります。

あき
秋



ヒガンバナ

(高さ:40~70cm)
田んぼのあぜなどに生え、名前のとおり、秋のお彼岸のころに真っ赤な花を咲かせます。根には毒があります。



ススキ

(高さ:1~2m)
日当たりが良い場所に生えます。昔はカヤといわれ、屋根、ぞうり、ほうきなどの材料に使われていました。秋の七草のひとつです。



アキノノゲシ

(高さ:1~2m)
日当たりのよい草はらや土手に生え、背が高くなります。秋に、クリーム色のキクのような花を咲かせます。



チカラシバ

(高さ:60~80cm)
道ばたや草はらなどに生える背の高い草です。茎は強く、なかなかちぎれません。秋にブラシのような大きな穂をつけ、よく目立ちます。



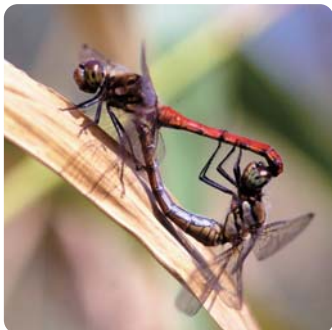
ヤマモミジ

(高さ:5~10m)
庭や公園によく植えられています。葉は手のひらのような形で、秋に赤く紅葉します。実を高く投げると、プロペラのようにくるくと回ります。



エノコログサ

(高さ:50~60cm)
道ばたや畑に生え、夏から秋に小型のブラシのような穂を出します。エノコロは犬の子のことで、穂を子犬の尾にたとえたものです。また、猫をじゃれさせることから、ネコジャラシともよばれます。



アキアカネ

(大きさ:おおよそ4cm)
 ヤゴは田んぼで育ち、6月にトンボになります。暑いのが苦手、夏は高い山で過ごします。秋になると低い所に下りて、田んぼの水たまりで卵を産みます。



ノシメトンボ

(大きさ:おおよそ5cm)
 1番大きな赤とんぼの仲間、はねのはしに茶色の模様があり、秋になるとオスは黒くなります。乾いた田んぼでも卵を産むことができます。



エンマコオロギ

(大きさ:おおよそ3cm)
 コオロギの仲間では1番大きくなり、家のまわりでもよく見ることができます。オスの背中には複雑な模様があり、これをこすり合わせてリーリリーと鳴きます。



ヒシバッタの仲間

(大きさ:おおよそ1cm)
 土がでている背の低い草はらでよく見られる、ひし形をした小型のバッタです。ほかのバッタと違い、逃げる時にも、はねで飛ばずに、ピョンピョン跳ねて移動します。



ブチヒゲカメムシ

(大きさ:おおよそ1cm)
 触角が白と黒のぶちになっていることから名前が付けられました。暗い黄色から赤色の体で、背中の真ん中に白い紋を持っています。背丈の低い草地や農地のまわりでよく見られ、ダイズ、ゴマ、イネなどの農作物も食べます。



モズ

(大きさ:おおよそ20cm)
 秋になると、木の枝の先にキーキーキイと大きな声で鳴きます。捕まえたエサを木の枝にさし、冬のエサのない時に食べる「はやにえ」という行動が有名です。

ふゆ
冬



ナンテン

(高さ:おおよそ2m)
庭によく植えられる木で、冬でも緑色の葉と赤い実がよく目立ちます。この実を鳥が食べ、遠くでフンをすることで種が運ばれます。初夏に白い花が咲きます。



ヤツデ

(高さ:おおよそ2m)
庭によく植えられる木で、手のひらのような形の大きな葉をつけます。秋の終わりに白い花をつけるので、暖かい日には昆虫が集まります。



アオキ

(高さ:おおよそ2m)
庭によく植えられ、冬はつやつやした葉と赤い実がよく目立ちます。実をつけないものもあります。鳥が実を食べて、種を遠くに運びます。



冬を越すロゼット

秋に種が芽生えて冬をこす草は、冬の間、寒さに耐え、日光があたるように地面すれすれに葉を広げています。このような葉をロゼットといいます。



ミノムシ(チャミノガ)

(蓑の大きさ:おおよそ4cmまで)
民家や庭木などに、小さな筒の形をした蓑を作って張り付けています。大きさが4cmを超える蓑を持つのはオオミノガで、ラグビーボールのような形をした蓑を作ります。枯れ葉や枯れ枝を、糸でからめて蓑を作ります。



ハラビロカマキリ

(成虫の大きさ:おおよそ6cm)
腹の幅が広くて胸が短いので、ずんぐりした形に見える中ぐらいの大きさのカマキリで、卵で冬を越します。草はらよりも木の上にいることが多く、木の上の昆虫を食べています。



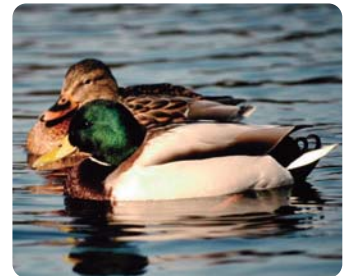
ナミテントウ

(大きさ:おおよそ1cm)
 黒地に赤、赤地に黒など、色も模様もいろいろあります。成虫が、木や石のかけでたくさん集まって冬を越すのを見かけます。



イラガ(まゆ)

(大きさ:おおよそ3cm)
 カキ、サクラ、カエデなどの庭や公園にある木の幹に、卵の形をしたしま模様のまゆを作ります。幼虫は、体にとげの生えた角があり、このとげに刺されるとたいへん痛いので注意が必要です。



マガモ

(大きさ:おおよそ60cm)
 冬になると、一番たくさん福井に渡ってくるカモです。オスは光った緑色の頭と黄色のくちばしを持つのできれいで目立ちます。メスは地味で目立ちませんが、たいてい近くにオスがいますので、マガモのメスとわかります。



ツグミ

(大きさ:おおよそ24cm)
 秋になるとシベリアから、日本に渡ってきて冬を越します。カキやナナカマドなどの実が好きです。田んぼや畑、庭先、河原などで群れで見られます。福井県の鳥に指定(昭和42年)されています。



ヒヨドリ

(大きさ:おおよそ28cm)
 林、街中の公園や庭など、木のある所でよく見られます。エサの少ない冬は、街路樹の赤い実に集まっていたり、えさ台を作りミカンやリンゴを置くとよく食べに来ます。ピーヨピーヨとにぎやかに鳴きます。



ショウビタキ

(大きさ:おおよそ14cm)
 冬を日本で過ごす冬鳥で、街中の公園や庭、明るい林のまわりに1羽ずつなわばりを持っています。見晴らしのよい所に止まり、ヒィッ、ヒィッと鳴き、頭を下げて尾を振るダンスをするのでよく目立ちます。

3

い も の か 生き物を飼ってみよう

チョウ



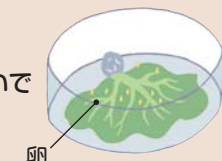
こはうらたまご
木の葉の裏に卵が
ついているよ。

すいそう

たまご
●卵は、3～5日くらいで
幼虫になります。

●幼虫が
5ミリくらいに
なったら、
別の大きな容器に
移してあげましょう。

かみ
紙をしく



えさ

モンシロチョウ キャベツ

アゲハ

ミカン類 (ユズなど)
カラスザンショウ

ガーゼなどの
ネットをふた
の間にはさむ

オタマジャクシ



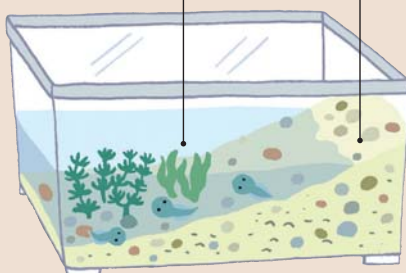
た
田んぼにいるよ。

すいそう

●水草や、砂や田んぼの泥を入れましょう。
●足が出たら、陸地を作ってあげましょう。

水草

こいし
小石や砂



えさ

煮干し

パン

ホウレンソウ

バッタ

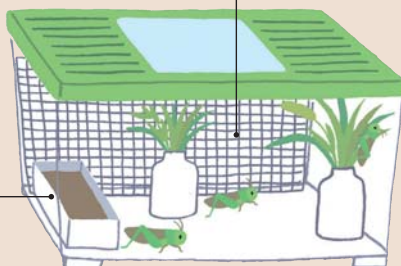


くさ
草はらにいるよ。

すいそう

目の細かい網を入れると
とどまりやすくてよい

産卵用容器



えさ

エノコログサ

ススキなどの
イネの仲間

オヒシバ

●容器は日の当たらないところに置きましょう。
●エサがしおれないように、水を染み込ませておきましょう。

4 はやし みずべ うみ いもの くら
林、水辺、海の生き物を比べてみよう

林や水辺、海といった場所には、それぞれどんな生き物がいるでしょうか？
比べてみましょう。

林

林の中では、どんな生き物が見つけれましたか？ また、生き物たちは、木の幹、葉、花、実、落ち葉などのうち、どんなところにいましたか？



みず べ 水辺

みず べ
水辺では、どんな生き物が見つけられましたか？ また、水辺の生き物たちは、なががある所、ない所、底がコンクリートと泥の所など、どちらの方にたくさんいましたか？



ジュンサイ



カルガモ



クロモ



サワガニ



イシガメ



ドジョウ



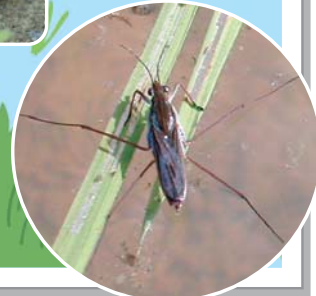
オオタニシ



オニヤンマ



トノサマガエル



アメンボ



カワウ

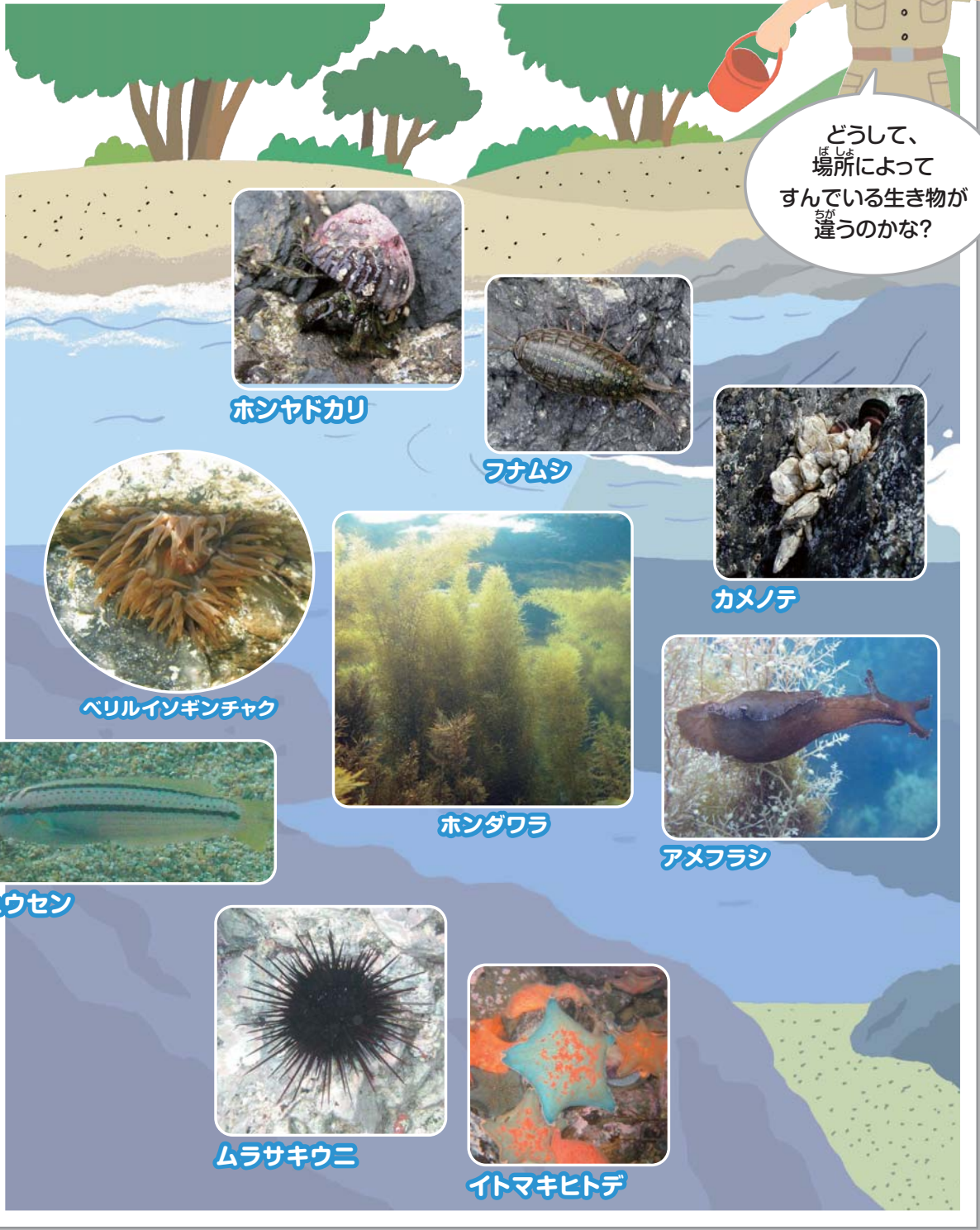


うみ
海

海では、どんな生き物を見つけられましたか？ 生き物たちは、砂の中、石の下、岩の表面、海中と陸上などのうち、どんなところにたくさんいましたか？



どうして、場所によってすんでいる生き物が違うのかな？



ホンヤドカリ



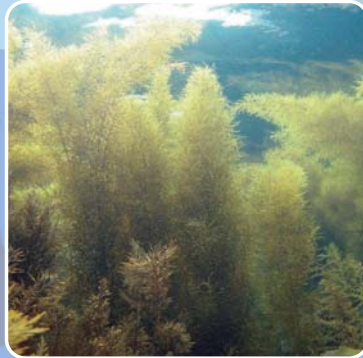
フナムシ



カメノテ



ベリルイソギンチャク



ホンダワラ



アメフラシ



キュウセン



ムラサキウニ



イトマキヒトデ

2 花・葉・実 調査隊

わたし まち おお くさ き
私たちの町には多くの草や木があります。
それらの花や葉、実について、調べてみましょう。

1 スイセンについて調べてみよう



とくちょう 特徴

もともとは外国の植物ですが、遠い昔に中国から伝えられたといわれています。高さは20~40cmで、葉は細く、12月~3月に花が咲きます。花には6枚の白い花びらと、黄色い部分があります。実はありません。

そだ 育て方

スイセンの球根を9~10月に植えまします。日当たりがよく、水はけの良い場所に植えましょう。スイセンの球根は、大きくなると、自然に分かれて増えていきます。



2 き かんさつ 木を観察してみよう

こうてい まち なか
校庭や町の中にはたくさんの木がありますね。おな み
同じように見えても、よくかん
さつ しゅるい とくちょう
察してみると種類によっていろいろな特徴があることがわかります。

しんようじゅ なに 針葉樹って何？

は かたち はり ほそ なかま
葉の形が針のように細い木の仲間を「針葉樹」といいます。よく見かける針葉樹に
は、マツやスギなどがあります。



だいひょうてき
代表的な針葉樹
です。公園や庭に
よく植えられ、福
井県の木にもなっ
ています。マツには
アカマツ、クロマツなどの種類があり、葉
は針のようにほそなが
く、まつかさ(まつぼっ
り)と呼ばれる実をつけます。



実



うろこのようなぶぶんがたくさんあつ
まってできています。

葉



さき
先がとがった針のような葉が、たくさんついています。

広葉樹って何？

葉が広くて平たい形をしている木の仲間を「広葉樹」といいます。よく見かける広葉樹には、サクラ、ケヤキ、ツバキなどがあります。

常緑樹と落葉樹って何？

葉の形の違いによって、木を「針葉樹」と「広葉樹」に分けることができますが、葉が一年中、ついているかどうかの違いによっても、木を分けることができます。一年中、葉がついている木を「常緑樹」といい、秋から冬になると、葉が落ちて、枝だけになってしまう木を「落葉樹」といいます。



「ドングリ」という名前なまえの木は
ありません。私たちがドングリと
呼んでいるのは、シラカシ、クヌ
ギ、コナラなどの木になる実のこ
とです。木の種類しゅるいによってドング
リの形にもちがいがあります。日
本には、ドングリのなる木が20
種類しゅるい近くもあります。

学校のまわりにある
ドングリを
探してみよう！



ドングリを見分けよう！

ドングリにつくお皿さらのような部分ぶぶんは、
木の種類しゅるいによって特徴とくちょうがあります。



しま模様
がある

- シラカシ
- ウラジロガシ
など



3~4つに
裂ける

- スダジイ
- ブナ
など



トゲのよう
になる

- クヌギ
- アベマキ
など



ウロコの
ようになる

- コナラ
- ミズナラ
など

動物に運ばれるドングリ

ミズナラのドングリ(タネ)は、土中にしめり気がある、光をさえぎる高い木のない場所に埋められると、無事、大きな木になれます。

アカネズミの他にもカケスやニホンリスもドングリをたくわえます

アカネズミにうめた場所を忘れられたり、食べ残されたりしたドングリは、何十年後に大きな木に育ってたくさんのドングリを実らせ、また、アカネズミの食べ物となるのです。

ドングリは、ほくの大荷物♡うめておいて、冬に埋り込んで、春へあきら。

腐れ葉に囲いから、しめり気のある土の中に、うめておかないと、芽も出せなくするんだ。

	実	葉
<p>シラカシ(常緑樹)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 長さ1.5~1.8cm ● お皿に6本ほどのしま模様がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前半分ぐらいに小さなギザギザがある ● 冬も葉をつけている
<p>クヌギ(落葉樹)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 丸い形で、幅2~2.3cm ● お皿はとげのようになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 針のようなギザギザが目立つ ● 冬は枯れ葉がついていることが多い
<p>コナラ(落葉樹)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 長さ1.5~2cm ● お皿はウロコのようにになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きなギザギザが目立つ ● 冬は葉をつけない

3

エネルギー探検隊

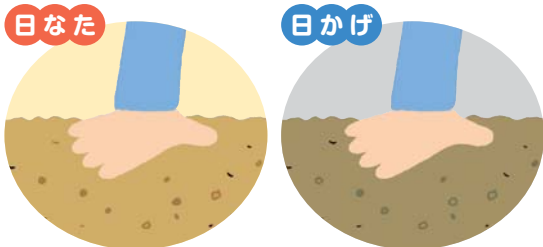
わたしたちの暮らしに必要なエネルギーには、いろいろなものがあります。

1 ひなたと日かげの様子を比べよう

外へ出て、ひなたと日かげでは、何が違うのか、どのように違うのかを調べてみましょう。

地面の様子

触ってみると、熱いものと冷たいものがあることがわかります。

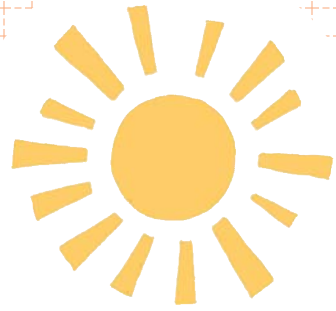


日かげ

ひなたとひかげでは、どちらが明るいですか。

暗いね。

地面はひんやり。



日なたと日かげでは、
どちらがあたたかいですか。

いきものようす
生き物の様子

日なたと日かげでは、生き物の様子は、
どう違いますか。

日なた



日かげ



日なた

じめん
地面は
あつ
熱いね。

まぶしいね。

2

自然の力で遊ぼう

水や太陽、風など、自然のなかには、ものを動かす力として利用できるものがあります。ここでは、水と風の力を使って遊んでみましょう。



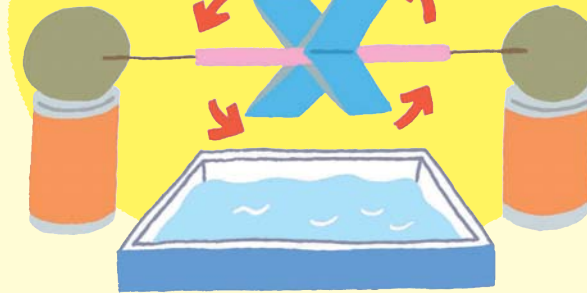
水が当たる部分を変えたら、水車の回り具合はどうなるかな。

すいしゃつく 水車を作ろう

用意するもの

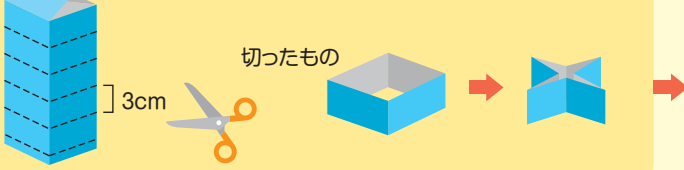
- 牛乳パック (1リットル)
- ストロー
- セロハンテープ
- ハサミ
- 竹くし
- あき缶
- 粘土

水のかで動くよ。



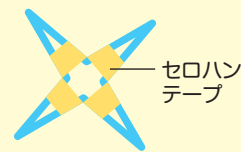
1

牛乳パックを3センチぐらいの幅に切る。切った牛乳パックを、図のように内側に折る。



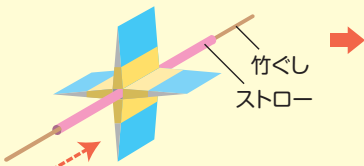
2

折ったところをとめる。セロハンテープで止める。



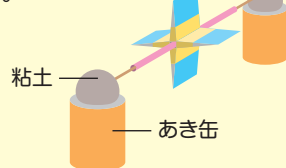
3

折った牛乳パックの真ん中にストローを差し込み、ストローの中に竹くしを入れる。



4

あき缶の上に粘土を置き、水車の土台にする。粘土の中に竹くしを差せば、水車のでき上がり。



使い終わった牛乳パックやあき缶は、きちんと分けて出しましょう。

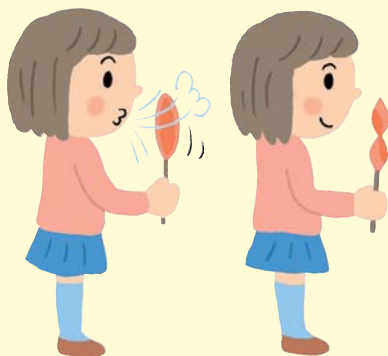


ふうしゃ つく 風車を作ろう

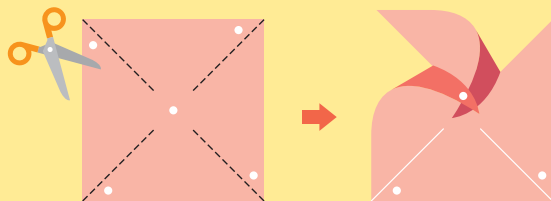
用意するもの

- 正方形の画用紙 (15センチ～18センチ)
- 竹ぐし
- フィルムのキャップ
- ストロー ● ハサミ

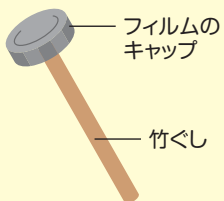
かぜ ちから
風の力で
うご 動くよ。



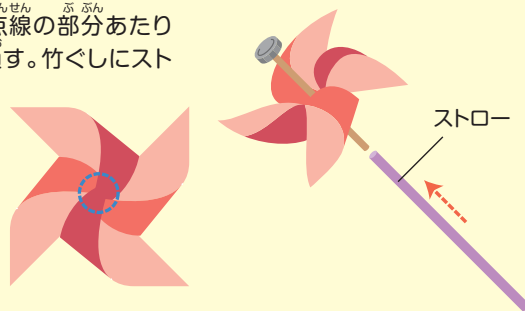
1 画用紙に図のような線を引き、中心より2センチぐらいのところまで切る。切った線の端っこを、中心に向けてひとつおきに曲げる。



2 竹ぐしにフィルムのキャップを差して、図のように止める。



3 図のなかの点線の部分あたりに竹ぐしを通す。竹ぐしにストローを通して、でき上がり。



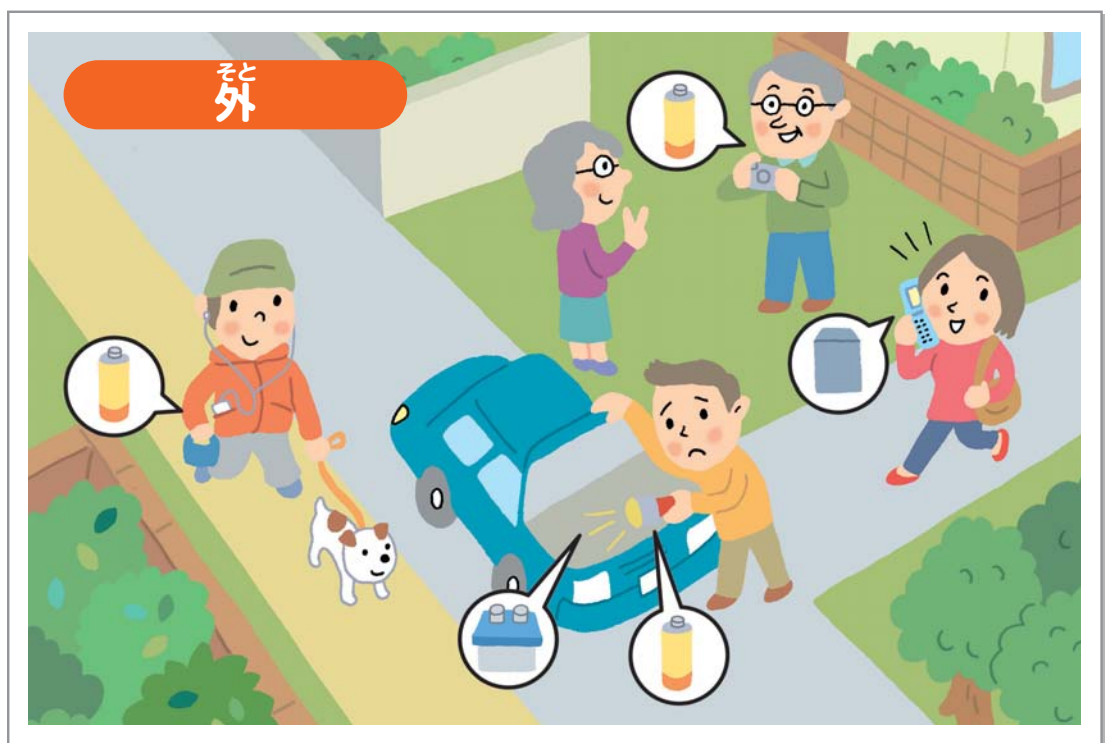
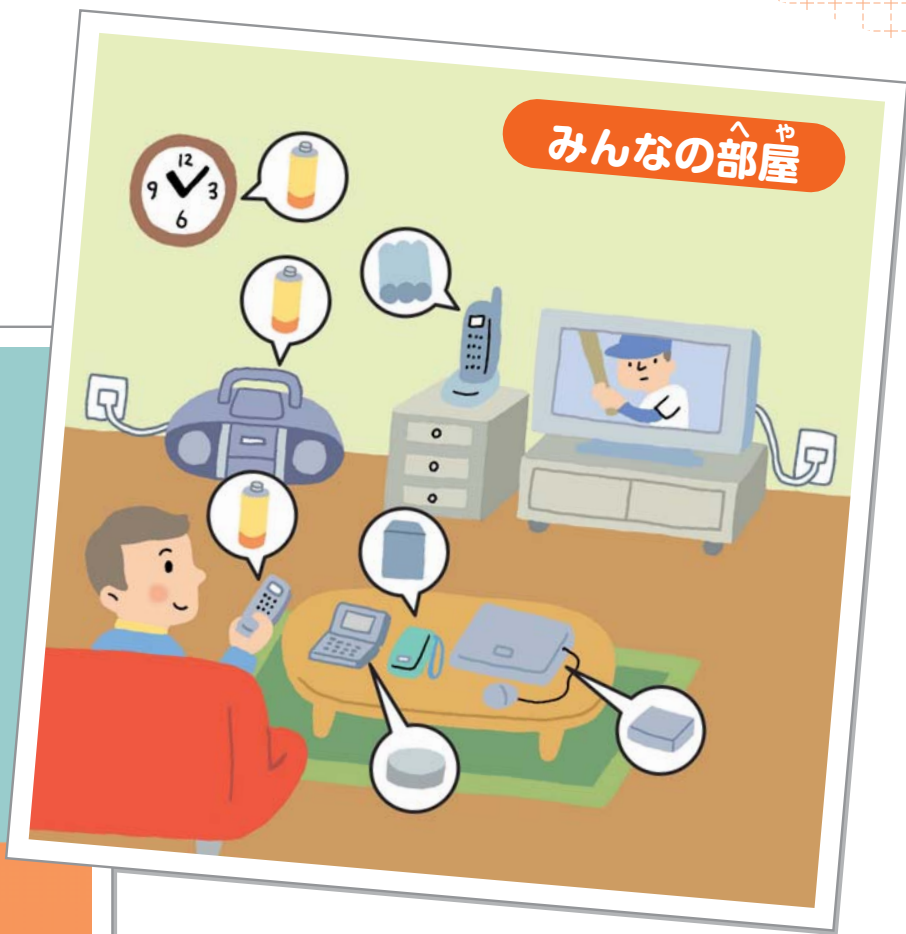
3 ^み ^{まわ} ^{でんち} ^{さが} 身の回りの電池を探そう

^{いえ} ^{そと} 家や外にある電池を探してみましょう。たくさんの電池が^{つか}使われていることや、いろいろな^{かたち}形の電池があることがわかります。



電池には、たくさんの
^{しゅるい}種類があるんだね。





ペットボトル つく ランプを作ろう

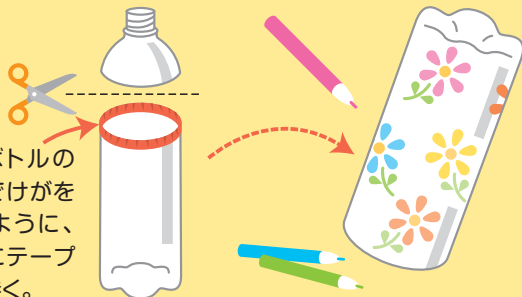
用意するもの

- 乾電池
- 豆電球のソケット
- 豆電球
- ペットボトル
- ペン
- ビニルテープ

小さなあかりが
カワイイね!



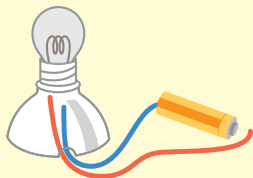
1



ペットボトルの切り口でけがをしないように、切り口にテープなどを巻く。

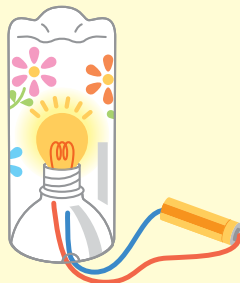
ペットボトルを図のように切り、ペットボトルの下の方に、絵を書く。

2



図のように、ペットボトルに豆電球をはめる。ソケットの線を通す穴を作っておく。

3



図のように、ペットボトルをのせて、でき上がり。

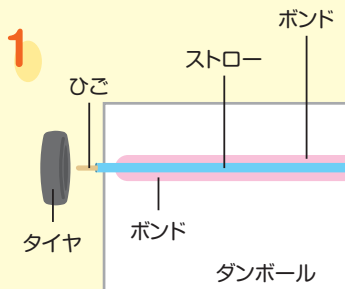


導線を乾電池の+極とマイナス極につないでひとつの輪にすると光ります。

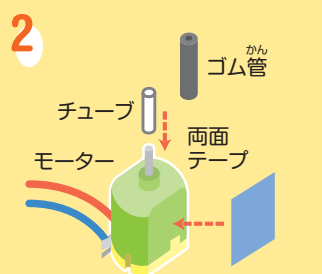
くるま 車の おもちゃを つく 作ろう

用意するもの

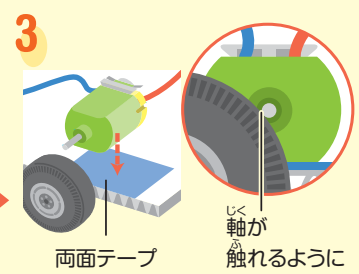
- 乾電池
- 乾電池ボックス
- モーター ● タイヤ
- ひご (14cm)
- ストロー (12.5cm)
- プラスチックのダンボール (20cm×12cm)
- 小さな目玉クリップ
- ビニルテープ ● ボンド
- 両面テープ



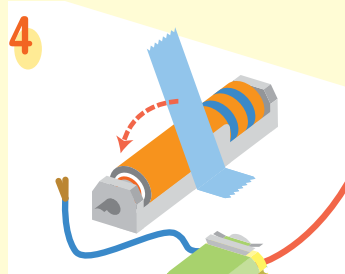
ダンボールにボンドでストローをつける。ストローの中にひごを通し、ひごの両端にタイヤをつける。



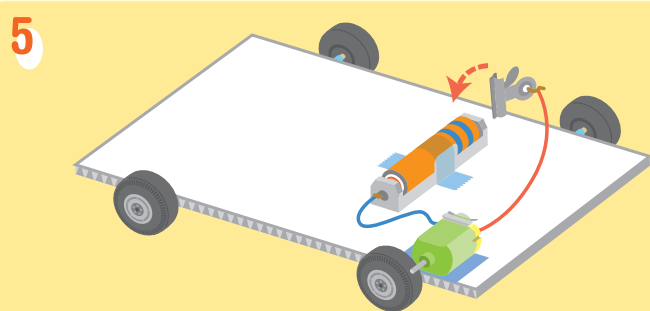
モーターにチューブやゴム管をはめ、モーターの下の面に、両面テープをはる。



ダンボールに両面テープをはり、前のタイヤにモーターの軸が触れるように、モーターを取り付ける。



乾電池を入れた乾電池ボックスをダンボールにのせ、ビニルテープでとめる。



乾電池ボックスと目玉クリップを線でつなぎ、目玉クリップを乾電池ボックスにつなぐと、スイッチが入る。

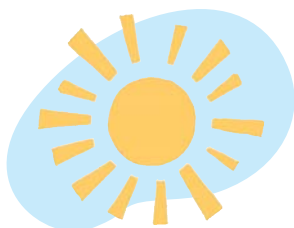
4 エネルギーって何？

物を動かしたり、光らせたり、温めたり、音を出したりする力をエネルギー
といいます。私たちの身の回りには、いろいろなエネルギーが使われていま
す。どんなエネルギーがあるのか、探してみましょ。う。

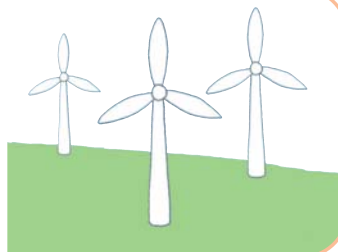
エネルギーの種類

エネルギーには、いろいろな種類があります。

たいよう
太陽の
エネルギー



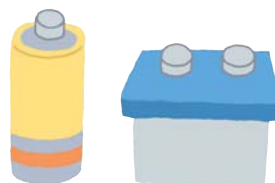
かぜ
風の
エネルギー



みず
水の
エネルギー

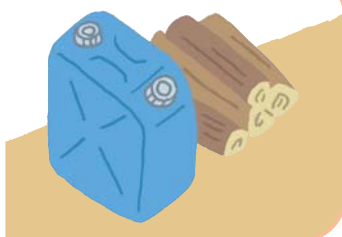


でんき
電気の
エネルギー



ねんりょう
燃料の
エネルギー

- 灯油やガソリン
- ガス ● 薪
- 炭など



いがい
それ以外の
エネルギー

- 地面を温める
エネルギー
- 体温など



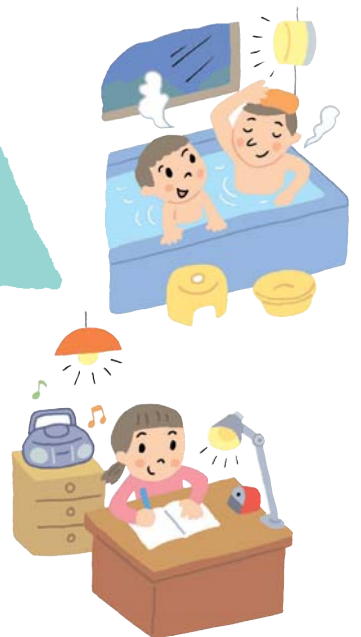
どんなところに
エネルギーは
使われているのかな。



わたし
私たちの
まわりの
身の回りの
エネルギー



なか
暮らしの中の
エネルギー



4 エコ探検隊

かんきょう たいせつ
環境にやさしい「エコ」が、どうして大切な
かんが
のかを考えてみましょう。

1 むだ使いしていないかな

でんき みず
電気や水は、使いすぎると、足りなくなってしまう。
みんなの家では、電気や水を上手じょうずに使っていますか？
むだ使いしていないか、
しらべてみましょう。

CDプレーヤーやアイロンを
コンセントにつないだままに
していないかな？

むだ使いは
どこかな？

みず
水はどこから
来るのだろう？
そして、使った水は
どこへ行くのかな？

なま まいにち
生ごみは毎日、
たくさん
出ています。



でんき
電気はどこから
来るのだろう？
どんな所で
電気を多く使って
いるのかな？

あ
明かりを
つけっぱなしにしている
部屋はないかな。



2

大切な電気や水

電気で動くものを調べてみると、洗濯機や掃除機など、家の中で使うものがたくさんあります。どんなものがあるか、見つけてみましょう。

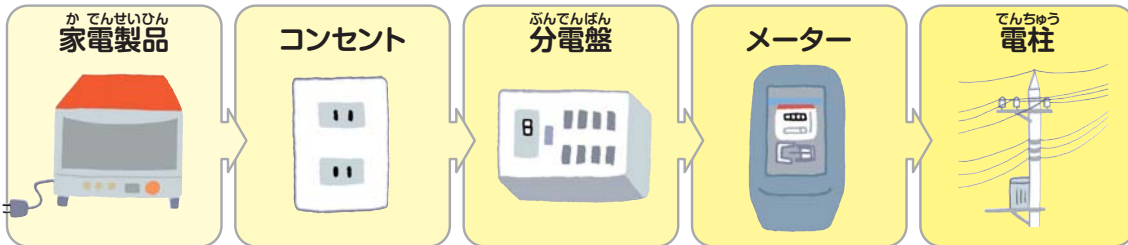
また、家の中では、水もたくさん使っています。どんな所で水を使っているのか、見つけてみましょう。



電気と水はどこから来るの？

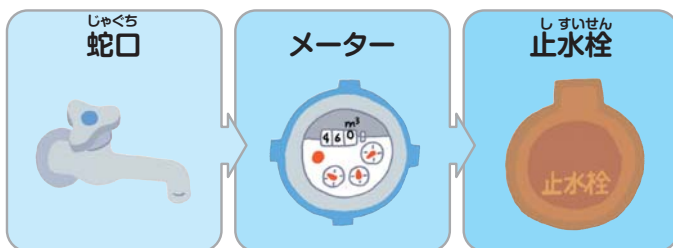
コンセントって何？

電気を取り出すところを「コンセント」といいます。コンセントは、どこにつながっているのでしょうか？ 電気の流れをたどってみましょう。



電気や水のメーター

電気や水をたくさん使うと、メーターが速く回ります。メーターは家の外にあります。お家の人といっしょに、どこにあるのか、調べてみましょう。



テレビを消したら
メーターは
どうなるかな？



3 電気や水を大切に使う方法 でんき みず たいせつ つか ほうほう

電気や水を大切に使う方法を見つけてみましょう。
たくさん見つけることができますか？

電気を大切に使う方法



● 冷房や暖房の温度に気をつけましょう。
れいぼう だんぼう おんど き



● テレビやゲームを使わない時は、本体の電源を消しましょう。
テレビ ゲーム 本体の電源



● 冷蔵庫のドアは、できるだけすばやく開け閉めしましょう。
冷蔵庫のドア

● 使わない電灯は消しましょう。
● 電灯の掃除をしましょう。
● エアコンの風を、冷房の時は上向きに、暖房の時は下向きにしましょう。
使わない電灯 電灯の掃除 エアコンの風 冷房の時は上向きに 暖房の時は下向きに



家電製品は電気を使いつづけている！ かでんせいひん つか

家電製品のほとんどは、リモコンからの信号を受けたり、時計を表示するために、少しずつ電気を使いつづけています。これはむだな電気なので、家電製品を消す時は、リモコンを使うのではなく、本体の電源を切るか、コンセントを抜くようにしましょう。



水を大切に使う方法



● ふろの残り湯を洗たくに使いましょう。
ふろの残り湯



● シャワーはこまめに止めましょう。
シャワー



● 水道の蛇口はきちんと止めましょう。
● 雨水をバケツにためて、植物の水やりなどに利用しましょう。
水道の蛇口 雨水をバケツにためて 植物の水やり

● はみがきする時に、水を出しっぱなしにしないようにしましょう。

4 昔の暮らしを体験しよう

電気がない昔は、今のように蛍光灯を使ったり、家電製品を使ったりすることはできませんでした。どんな暮らしだったのか、昔の暮らしを体験してみよう。

地域のおじいさん、おばあさんに聞いてみよう。

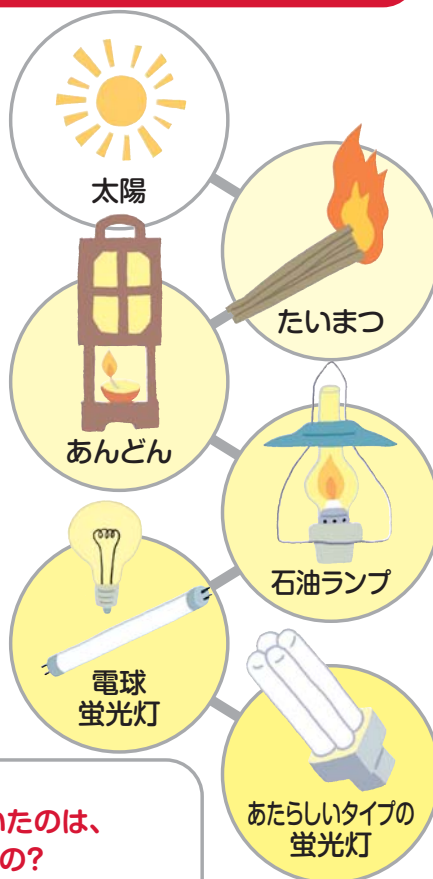
① 大昔は、太陽や月などの自然の明かりだけでした。

② 物を燃やして火の明るさを利用しました。

③ 持ち運びができる明かりが、ちょうちんでした。

④ 石油を燃やして明るくしたのが、石油ランプです。

⑤ 電球や蛍光灯が使われるようになりました。電気のエネルギーを光に変えるので、とても明るく、空気が汚れたり火事になる心配もなくなりました。



いえ 家に電気がついたのは、
いつごろだったの？

たいしょうじ だい はじ おも
大正時代の初めだったと思う
わ。石油ランプは、さすがすぐ
ついて、掃除が大変だったの。

初めて電気がついて、
どんな様子だった？

ものすごく明るくて、とっても
びっくりしたのよ。

せんたくいた くつした あら
洗濯板で靴下を洗ってみよう

でんきせんたくき
電気洗濯機のないころは、手
で洗濯をしていました。その
ときつか
時、使ったのが洗濯板とたらい
です。洗濯板の表面には、ギザ
ギザの刻み目があり、ここへ洗
たくもの
濯物を押しつけるようにして、
よご
汚れを落としました。電気洗濯
機と洗濯板では、どんなところ
がちが
が違いますか。気づいたところ
をまとめてみましょう。

汚れの
ひどいところを、
しっかりと洗うことが
できるね。



じかん
時間がかかるし、
とてもつか
とても疲れるね。

く ゆた
電気が暮らしを豊かにしています。



へや
部屋を明るくしたり、ものを
うご
動かしたり、色々な所で電気
が使われ、私たちの暮らしを使
り
利に、豊かにしています。家庭
や学校など、どんな所で電気
エネルギーが使われているの
か、調べてみましょう。

5 エコライフに挑戦!

ちょう せん

わたし どれよく
私たちのちょっとした努力で、たくさんの
「エコライフ」が始まります。

私たちの今の便利な暮らしでは、
たくさんのエネルギーや資源を使って
いるため、二酸化炭素が多く出ます。
でも、二酸化炭素が多くなると、地
球の温度は高くなっていき、地球の
環境が壊れてしまいます。ちょっとし
た工夫をすることで、エコライフにな
ります。家族みんなで、エネルギーを
節約して、環境に優しい「エコライフ」
を送るように、心がけてみましょう。



いくつエコライフ
できるかな。



つかす
使い捨ての容器は、
なるべく使わないようにしましょう。



へやで
部屋を出る時には、
あかりを消しましょう。



て
手をふく時は、ペーパータオルや
ティッシュペーパーを使わないで、
ハンカチを使いましょう。



- テレビゲームやテレビを見る時間を
みじかん
短くしましょう。

- ごはんやおかずを
のこ
残さないようにしましょう。

- 家族みんなで、
かぞく
なるべく早寝をしましょう。

- 食べ物を買う時、パックに入っている
たもの
ものではなく、バラ売りのものを
か
買いましょう。

- 物を大切に使いましょう。
たいせつ

- いらなくなったものは、
フリーマーケットに出しましょう。
た

1 ごみを減らそう

ごみて何?

つか お もの
使い終わった物やいらなくなった物は、ごみになります。でも、修理して使ったり、いらなくなった物を欲しい人に譲ることもできます。ごみとして出すときは、住んでいる地域の決まりを守って、種類ごとに分けて出せば、もう一度、新しい物を作るための材料になります。

も 燃やせるごみ

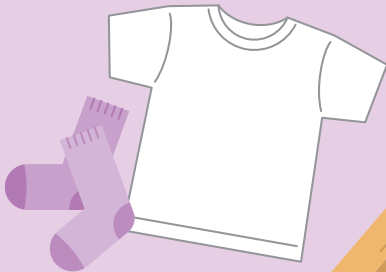
だいどころ
●台所ごみ



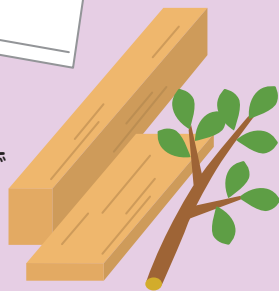
かみ
●紙くず



いるい めの
●衣類や布

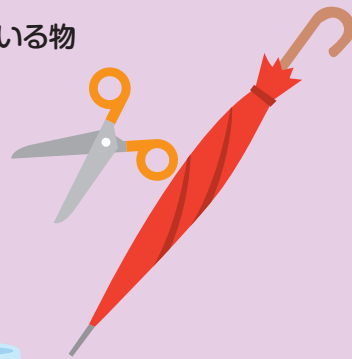
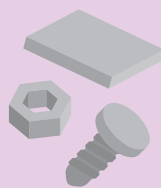


●木くず

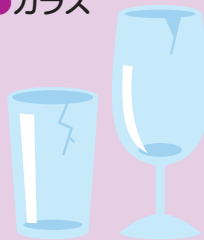


燃やせないごみ

きんぞく
●金属でできている物



●ガラス



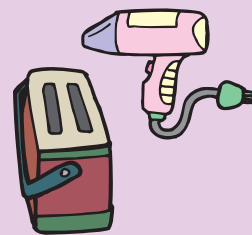
とう きるい
●陶器類



ぶんぐ
●文具



ちい かでん
●小さな家電



ごみを分けよう!

ごみを、もう一度、上手に利用できるようにするために、種類ごとに分けて出しましょう。また、ほかに分けて出すものがないか調べてみましょう。



ペットボトル類

- 清涼飲料水やしょうゆなどのペットボトル



あき缶類^{かん}

- アルミ缶
- スチール缶
- かん詰め缶
- ミルク缶
- のり缶など



あきびん類

- 使い終わったびん類 (ふたやリングは取って出す)



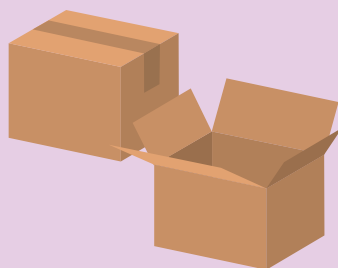
新聞・雑誌類^{しんぶん ざっしるい}

- 新聞紙
- 折り込みチラシ
- 雑誌



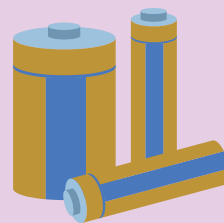
ダンボールやあき箱^{ばこ}

- ダンボールやあき箱



乾電池^{かんでんち}

- 使い終わった乾電池



2 いらなくなった物を使って工作しよう

いらなくなった物でも、もう一度使える物はたくさんあります。
 見えそうな物を見つけて、工作してみましょう。



ひもを
じょうず
うご
上手に動かすと
のぼ
登っていくよ。

ぎゅうにゅう
牛乳パックやあき箱などを使って
つく
おもちゃを作ろう

ま
木登りコアラ あき箱とコアラを
のり
のりでつけば、でき上がり。

コアラ(大・小)



たこ糸

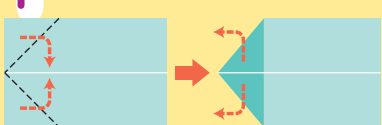


空きばこ

こうかくし 広告紙を使って かみひこうき **紙飛行機を作ろう**


イカ飛行機

1



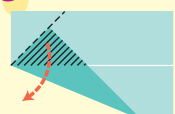
ま なか あ お ひら
真ん中に合わせて折って、開く。

2




1でできた折り目に
合わせて折る。

3



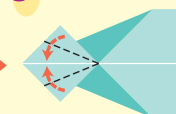
しやせんぶ
斜線部のみ折る。

4



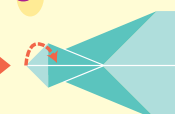
はんたいがわ
反対側も同じよう
に折る。

5

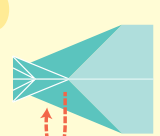


がた
ひし形の部分を半
分に折る。

6

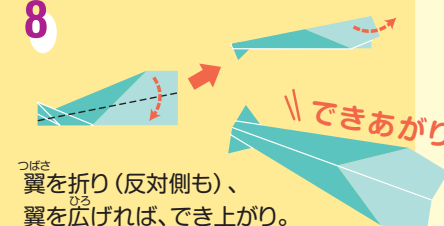


7



半分に折る。

8



つばさ
翼を折り(反対側も)、
翼を広げれば、でき上がり。

!!できあがり!!



だん 段ボールを使って
キヤタピラを
つく 作るう



てあし うご 手足を動かすだけで
ぐんぐんすす 進むよ!



※一度使った物を、洗ったり直したりして繰り返し使うことを「リユース」、いらなくなった物を、新しい物を作るための材料として使うことを「リサイクル」といいます。

 リサイクルマーク

環境に優しい製品には、リサイクルマークがついています。リサイクルマークは、種類によっていろいろなものがあります。また、ごみを分けるときに役立つマークもたくさんあります。



エコマーク

環境に役立つ製品につけられています。エコマークがついた製品は、およそ4,500種類もあります。



スチール缶識別マーク

スチールでできた缶につけられています。



古紙配合率70%再生紙を使用しています

再生紙使用マーク

古くなった紙をもう一度、利用して作った製品につけられています。数字が大きいほど、古い紙をたくさん使っていることを表しています。



アルミ缶識別マーク

アルミでできた缶につけられています。



グリーンマーク

グリーンマーク

古くなった紙をもう一度、利用して作った製品につけられています。本やトイレトペーパーなどにつけられています。



PET

ペットボトル識別表示マーク

ペットボトルにつけられています。



福島県認定
リサイクル製品

福島県認定リサイクル製品

福島県が認めたリサイクル製品についています。トイレトペーパーや工事用のブロックなどがあります。

6 福井県の環境 エトセトラ



- ^し知^{こと}っておきたい事 P49
- ^{けんがく}見^{かのう}学^{しせつ}可能な施設 P61

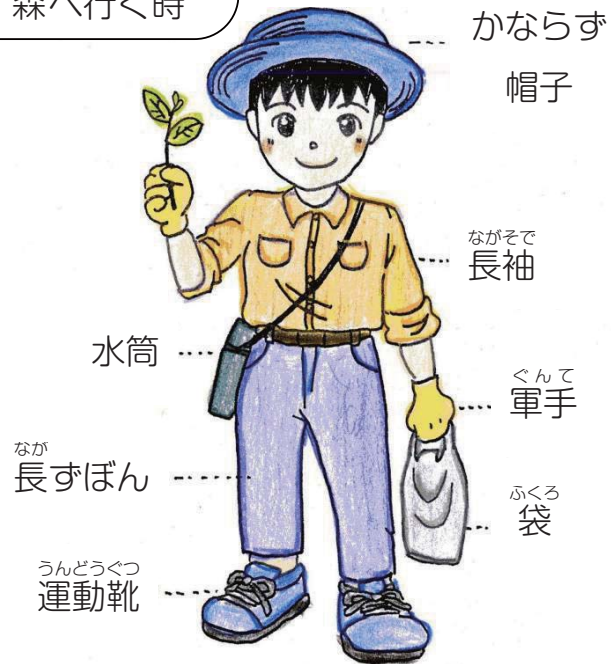


し こと 知っておきたい事

い もの あそ とき ちゅうい 生き物と遊ぶ時の注意

ぼうし かなら すいとう も
帽子を必ずかぶり、水筒を持ちましょう。

もり い
森へ行く時



かわ た
川・田んぼへ行く時



これだけはまも 守ろう

とも つか うち ひと つた
・友だちだけで生き物を捕まえに行く時は、お家の人に伝えてから行きま
しょう。

はい ばしょ ぜったい
・入ってはいけない場所には、絶対に入らないようにしましょう。

いけ みずうみ なが はや おとな いっしょ
・池や湖、流れの早い川に行く時は、大人の人と一緒にいきましょう。

いろいろな生き物を飼ってみましょう

- ・どんなエサを食^たべるか、どんなところ^{やす}で休^{しら}むのか調^{しら}べましょう。
- ・エサをあげたり、水^{みず}を換^かえたりして世^せ話^わをしまし^ましょう。
- ・アメリカザリガニやミドリガメは、元^{もと}は「よその国^{くに}」の生^にき物^{ほん}です。日本^{にほん}の生^にき物^{ほん}を食^たべてしま^いいます。こ^こう^うした生^にき物^{ほん}を捕^{つか}ま^まえたら、他^{ほか}の場^ば所^{しょ}へ持^もって行^いか^かないで^でく^くだ^ださい。
- ・アメリカザリガニとミドリガメを飼^{ひと}っている人^{ひと}は、ど^どこ^こか^かに放^{はな}したりせ^せず^ずに死^しぬ^ぬま^まで世^せ話^わをし^して^てく^くだ^ださい。

生き物が減っている！

福井県は、自然がたくさんあるので、昔からたくさんの生き物がすんでいました。ところが、今では人間のすむ場所が広がったことなどから、生き物の暮らせる所が少なくなり、生き物の種類が減っています。福井県からは、既に、24種類もの生き物がいなくなったことが分かっています。

福井県からいなくなった生き物



ニホンオオカミ

(はく製・三重大学教育学部所蔵)
撮影：福井市自然史博物館



ニホンカワウソ

(はく製・愛媛県立総合科学博物館所蔵)
撮影：福井市自然史博物館



トキ

(木製)



カワシンジュガイ

(標本・福井市自然史博物館蔵)



アサザ

撮影：石本昭司氏



オニバス

ふくいけん 福井県からいなくなった鳥 コウノトリ



(撮影：林武雄氏)
約 40 年前のコウノトリの写真

みんなで守ったが、いなくなってしまった

いま ねん まえ
今から 40 年ほど前の福井県には、コウノト
リという鳥がすんでいました。白い体で首
あし なが は
と足が長い、「つる」の様な姿の鳥です。羽
ね ひろ おお
根を広げると、2メートルもある大きな鳥で
す。コウノトリは魚やカエルなどがたくさん
みずべ だいす き うえ やす こ
いる水辺が大好きで、木の上で休んだり、子
そだ た
どもを育てたりします。昔は田んぼにドジョ
ウやフナなどの魚やカエルがたくさんいました。ところが、稲を食べる虫
ころ つよ くすり つか すく
を殺すために、強い薬を使ったため、魚やカエルまで少なくなってしまう
た どく
いました。そして、魚やカエルを食べていたコウノトリもまた、体に毒が
たまっし
たまって死んでしまいました。このため、コウノトリは福井県にいなくな
と
ってしまい、今では、ごくたまに飛んでくるだけになっています。

すく 少なくなっている生き物たち

まだ福井県ふくいけんにいるけれど、昔むかしよりずっと数かずが減り、いなくなりそうな生き物へもいます。福井県でも、なんと863種類しゅるいの生き物が、数を減らしていることがわわかっています。

たくさんの生き物たちのおかげで豊かな自然ゆた しぜんが残り、わたしたちは、健康けんこうで元げんき気に暮くらすことができます。少なくなってしまった生き物は、わたしたちがふふ増やしましょう。

いなくなりそうな生き物



どうぶつ
動物

モモンガ
ヤマネ
オコジョ
コウモリのなかま
など



とり
鳥

ワシ・タカのなかま
フクロウのなかま
ハクチョウやガンのなかま
クイナのなかま
タマシギ、シロチドリ、
ミゾゴイ、ヨシゴイ
コアジサシ、ブッポウソウ
など



かめ へび
亀・蛇

ウミガメのなかま
スッポン
タカチホヘビ
など



カエル・サンショウウオ

ダルマガエル
ナガレヒキガエル
アベサンショウウオ
など



さかな 魚

メダカ
イトヨ・トミヨ
イワナ・ヤマメ
ハス
アカヒレタビラ
イチモンジタナゴ
ウナギ など



むし 虫

ゲンゴロウのなかま
タガメ・コオイムシ
フクイアナバチ
ハッチョウトンボ
ネアカヨシヤンマ
カワラバッタ
オオムラサキやホシチャバ
ネセセリなどのチョウのな
かま など



かい 貝・カタツムリ

マルタニシ
フクイマメシジミ
カンムリレンズガイ
エチゼンピロウドマイマイ
ハクサンマイマイ
など



くさ き 草・木

トチカガミ・ミズアオイ
デンジソウ
エチゼンダイモンジソウ
キキョウ
ノハナショウブ
バイカモ など

ふくい すいさん しげん
福井の水産資源

福井の海では、季節ごとにおいしい魚がたくさん獲れます。

はる
春

さより

からだ^{ほそ}が細く、下あご^{した}が
あか^{なが}くて長い魚です。刺身^{さしみ}、
てんぷらなどにします。



わかめ

あさ^{いわば}浅い海の岩場に生えて、
たか^{くらい}さは1メートル位になり
ます。



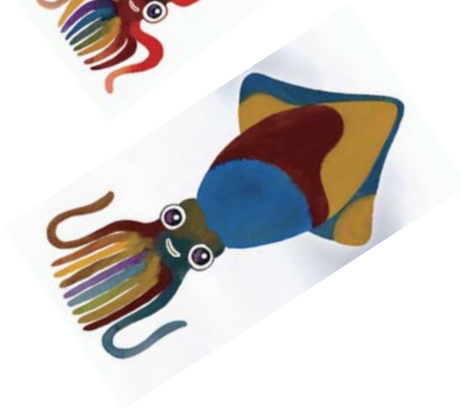
やりいか

からだの先^{さき}が、やりのようにとがって
います。刺身にするとおいしいです。



ほたるいか

こうぶん^{ひか}興奮すると光る、小さいいかです。
ゆでたり、塩辛^{しおから}にします。



なつ 夏

あじ

からだの横に硬いうろこがあります。
夏に美味しく、色々な料理があります。



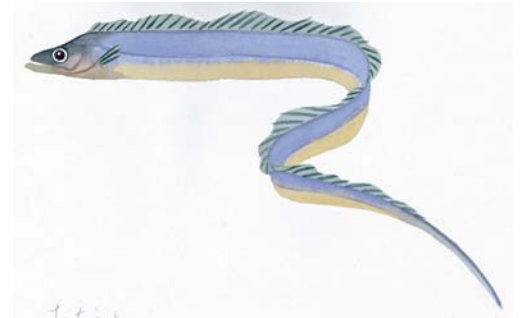
あまだい (若狭ぐじ)

赤いからだで尾びれに黄色の線があります。焼いたり、刺身などにします。



たちうお

銀色で細長く、口は大きく歯は鋭くとがっています。



ばふんうに (越前うに)

浅い海の岩場にすんでいて、漁期は7月と8月です。中の身を塩づけにして食べます。



あゆ

川の中で、なわばりを持つ習性があります。塩焼きにして、食べます。



あき
秋

あおりいか

からだ^{ひら}が平たく、ひれ^{おお}が大きくて、刺身^{さしみ}にするととてもおいしいです。



さば

背^せ中^{なか}に黒^{くろ}い波^{なみ}の模様^{もよう}があります。
ぬか^{しお}や塩^{しお}にしばらくの間、つけてできあがる「へしこ」は福井^{ふくい}県^{けん}の特産品^{とくさんひん}です。



あか^{あか}がれい (越前^{えちぜん}がれい)

からだ^{くち}が赤^{あか}っぽく、口^{くち}が大きながれい^{おお}です。地^ぢがれい^よとも呼ばれています。



やなぎむしがれい (わかさ^{わかさ}がれい)

笹^{ささ}がれい、甘^{あま}がれいとも呼ばれます。
ほ^ほ干^やしたものを焼^やいてたべるととてもおいしいです。



ふゆ
冬

あま
甘えび

なま た
生で食べると甘みがあります。
からだがあか
いので、赤えびともよばれます。



とらふぐ (わかさ
若狭ふぐ)

むね ちか おお くろ もよう
胸の近くに大きな黒い模様があります。
ちほう ようしょく
若狭地方で養殖されています。



かき

かたち ちが まい も かい
形の違う2枚のからを持った貝です。
お ばまわん
小浜湾で養殖されています。



ずわいがに (えちぜん
越前がに)

ふく いけん さかな
福井県の魚にもなっています。
めすはせいこがにとよ
呼ばれています。
がっ がつ あいだ りよう
11月から3月の間だけ漁をします。

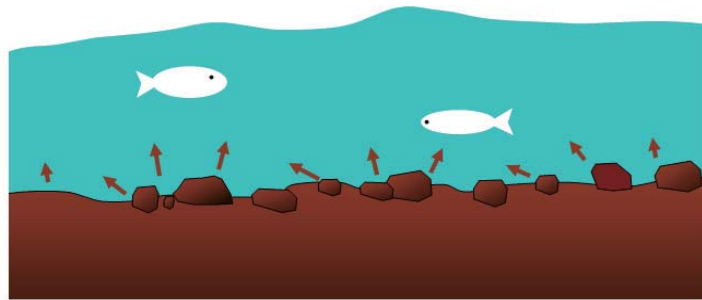


みず かた やわ 水は硬い？軟らかい？

水には、硬い水と軟らかい水があることを知っていますか？

水の中には、実は、いろいろなものが溶けています。

蛇口から出てくる水は、元々は川や地面の下にある水です。



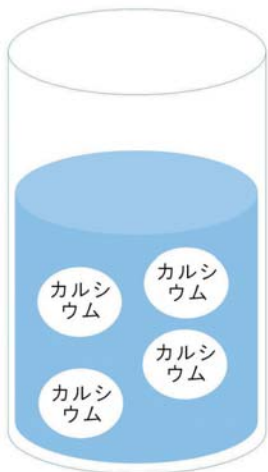
この時、土や石からいろいろなものが溶け出ているのです。

カルシウムなどがたくさん溶けているものが、硬い水です。

硬い水のことを硬水と言います。

反対に、カルシウムなどが少ないものは、軟らかい水です。

軟らかい水を軟水と言います。



硬水



軟水

ふくいけん みず
福井県の水は、ほとんどが軟らかい軟水です。

がいこく い かた ところ
外国に行くと、硬い水の所もあります。

スーパーに行くと、ペットボトルに入ったいろいろな水があります。

福井県の水もあるので探してみましよう。



ちよう
おおい町の水



おおのし
大野市の水



わかさちよう
若狭町の水



えちぜんちよう
越前町の水

見学可能な施設

ふくいけん しぜんほご 福井県自然保護センター

おおのし ろくろくしこうげん とうしよくぶつ ぜつめつきぐしゆ てんじし
大野市の六呂師高原にあります。福井県の動植物や絶滅危惧種などの展示施
せつ ほしぞら かんそく こうけい おおがたはんしゃぼうえんきやう かんざつ
設や星空を観測できる口径80cmの大型反射望遠鏡、野生動植物を観察でき
もり そな しぜん ふしぎ たいせつ まな
る森を備え、自然の不思議さ、大切さが学べます。



ばしょ
場所

おおのし みなみろくろし
大野市 南六呂師

でんわ
電話

0779-67-1655

ホームページ

<http://www.fncc.jp>

かいひん 福井県海浜自然センター

わかさちやう うみ ちか いそ
若狭町の海のすぐ近くに 있습니다。磯にすむいろいろな生きものの観察や、砂
はま かいがら いし こうさく
浜のきれいな貝殻や石で工作などができます。



ばしょ
場所

わかさちやう せくみ
若狭町 世久見

でんわ
電話

0770-46-1101

ホームページ

<http://www.fcnc.jp>

えちぜんまつしますいぞくかん
越前松島水族館

イルカやペンギン、マンボウなどのおもしろい海の生きものたちを見ることが
できます。アザラシやエイなどに触れたり、ウミガメたちに餌を与えること
ができます。



ばしょ
場所

さかいし みくにちょう
坂井市 三国町

でんわ
電話

0776-81-2700

ホームページ

<http://www.echizen-aquarium.com/>

おくえつこうげんぼくじょう
奥越高原牧場

農家から預かった子牛を育てています。子牛を育てる建物の中を見学できま
す。また、子牛に餌を与えることもできます。



ばしょ
場所

かつやまし へいせんじちょう
勝山市 平泉寺町

でんわ
電話

0779-88-1973

ホームページ

<http://www.pref.fukui.jp/doc/okuboku/index.html>

れいなんぼくじょう
嶺南牧場

わかさぎゅう そだ たてもの なか けんがく こうし あた
若狭牛を育てています。建物の中を見学し、子牛やヤギにエサを与えることができます。



ばしょ
場所

わかさちょう あがり
若狭町 安賀里

でんわ
電話

0770-62-0583

ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/reinabok/index.html>

ふくいけんそうごう
福井県総合グリーンセンター

たくさんの木が植えられていて、いろいろな花が咲いています。タマネギの形
おんしつ ねったい さ かんさつ かたち
をした温室では、熱帯に咲く花を観察できます。



ばしょ
場所

さかいし まるおかちょう
坂井市 丸岡町

でんわ
電話

0776-67-0002

ホームページ

<http://www.pref.fukui.jp/doc/green-c/index.html>

げんしりよく　かがくかん 原子力の科学館　あっとほうむ

ゲームやクイズをしたり、^{きかい}機械に^ふ触れて^{でんき}電気がどうやって^{つく}作られて、どのよう^{つか}に使われているのか^{まな}学べます。



ばしょ
場所

つるがし　よしかわ
敦賀市　吉河

でんわ
電話

0120-69-1710

ホームページ

<http://www.athome.tsuruga.fukui.jp/>

エンゼルランドふくい

^{うちゅう}宇宙や^{ひかり}電気、^{かぜ}光や^{ちから}風の力について、いろいろな^{きかい}機械に触れて学べます。シアターでは^{えいが}プラネタリウムや^{たの}映画を楽しめます。



ばしょ
場所

さかいし　はるえちよう
坂井市　春江町

でんわ
電話

0776-51-8000

ホームページ

<http://www.angelland.or.jp/>

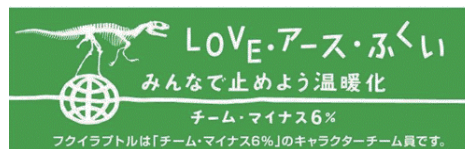
エコワークブック

- 作成事務局 福井県安全環境部
福井県教育庁

- 協力 久保 三枝子 豊小学校
伊達 薫里 明新小学校
山口 美佐江 鷄小学校
上田 順子 社西小学校
上田 嘉彦 御陵小学校
高津 泰恵 木田小学校
久保 幸一 武生第三中学校
黒川 文治郎 光陽中学校
中内 優子 明倫中学校

- 監修 炭谷 茂 (財)地球・人間環境フォーラム 理事長
環境ふくい創造会議 座長
服部 勇 福井県環境審議会 会長
福井大学 教授

- 発行 平成21年3月
福井県安全環境部環境政策課
〒910-8580
福井県福井市大手3丁目17番1号
TEL 0776-20-0301



エコワークブック しょうがくせいよう しょう 小学生用上

福井県